

小美玉ヨーグルトの良さ、ミュージカルで表現



演劇ファミリーMyu
いいだ たかこ
飯田 貴子 さん

「演劇を通して小美玉ヨーグルトの美味しさを全国の人に伝えたい！」と語る飯田さん。

みの~れと共に生活するスタイル
Minole Life
のすすめ

No.134

燦々と照りつける太陽の下で、金平糖みたいで白やピンクの百日紅の花が、ジェリービーンズみたいに可愛らしい色の松葉ボタンが咲いている姿に、暑いのも少し忘れて見とれてしまいます。遠くから聞こえる和太鼓の音色や、花火の音、虫の声・暑い暑い昼間と、ちょっとホットする夏の夜ですね。今回はみのくれ住民劇団「演劇ファミリーMyu」のメンバーで小美玉市大笹地区にお住いの飯田貴子さん取材します。

Myuとの出会い・・・

「16年前のみのくれこけら落とし公演『田んぼの神様』に出演したこと。勤務していた水戸市の小学校から地元の羽鳥小学校に転勤が決まり、前校の校長先生から『これからは地元で貢献するように』と笑顔で言われたことがきっかけになりました。校長先生が言われた貢献という意味とはちよつと違ったのかもしれないけれど・・・こけら落とし公演の参加者募集を見て『これだ！』って思ったんです。Myuには子どもたちもたくさんいて、学校以外の場所でも子どもと一緒に成長できて良かったと思います」と当時を懐かしそうに話してくれました。

運動神経が抜群というイメージがあり聞いてみると、「鉄棒、陸上競技関係は得意だったので運動会とか輝いていましたね(笑)。踊るのも好きで学校でもダンスなどを教える担当になっていました。運動会のダンスを子どもたちに教えるのに、女子体育連盟の勉強会にも参加しまし

た。歌うのはちよつと苦手だったんですけどね」と飯田さん。

趣味を聞いてみると、「赤毛のアンに憧れて、家庭菜園に挑戦しながら、そこで採れたスモモ、梅、ブルーベリーでジュースを作っています。それから、2歳の孫の面倒を見ているのですが、できなかつたことができるようになったり、どんどん成長していく姿には毎日感激しています」とにっこり。

これまで『田んぼの神様』をはじめ数作品に出演。みのくれ10歳記念公演『未来ロケット』はアンサンブルでの参加をしてきた飯田さんですが、「演劇の練習と教員の仕事の両立は無理だと思いMyuを離れた時期もありましたが、将来的には戻りたいと思っていました。昨年の春仕事を退職したこともあり、Myuに復帰して15周年記念作品の『まんなまるムーン』に参加しました。舞台上がって演じた時の感じ・スポットライトを浴びた時の感動はやっぱりすごくて、観に来てくれた人が褒めてくれるのも嬉しかったです。またあ

の感動を味わいたいなと思って、今回のヨーグルトサミットのミュージカルにも参加しました」と笑顔で話してくれました。

ヨーグルトサミット

への意気込みは

「おみたまヨーグルトが大好きでこの美味しさを全国の人に伝えたいなと思います。ミュージカルでヨーグルトの味を伝えることはできないけれど、小美玉の素材なまちのイメージや、そこで作られるヨーグルトのことを、メンバーと頑張っただけだと思っていました」と飯田さん。そして「歌や踊りでインパクトをあたえ、テンポの良い演技で皆さんを楽しませたいなと思います。小美玉の人たち、こんなに頑張っていたんだと感動してもらいたいですね」と意気込みを聞かせてくれました。

10月20日、21日の2日間で4回公演します。『ヨーグルトのまちでく白い妖精のきせき』ぜひ、観に来てくださいね。